

【事例編】

【事例編】には、県内の小・中学校、それぞれ9校ずつ、計18校の家庭学習充実に向けた特色ある取組を掲載しています。



家庭学習に主体的に取り組み、日頃の学習内容を振り返る力の育成

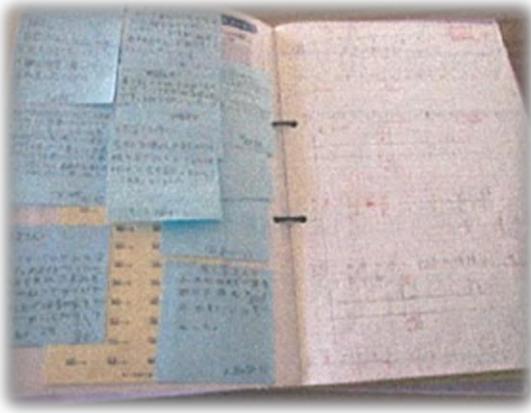
桑折町立睦合小学校

- 子どもたちが、お互いの自主学習ノートを見合ったり、自分の学習を振り返ったりすることをおして、主体的な取組となるよう工夫している。
- 家庭学習に対する保護者の関心を高める取組を工夫している。

🔑 自学ノートのレベルアップを目指して

🔍 Check 自主学習ノートの回覧週間の設定

「自主学習ノート回覧週間」を設定し、自分の学年の下の学年にノートを回覧（6年→5年…）し、付箋などに感想等を記入してもらう。また、6年生には、中学生（醸芳中学校）のノートを見る機会を設定しており、6年生、中学生、双方にとってよい刺激となっている。



🔑 保護者の関心を高めるための取組

🔍 Check 「お父さん・お母さんに見てもらおう週間」の実施

個別懇談会の際、全学年の自主学習ノートを控え室となる図工室に展示し、保護者から付箋に励ましの一言を記入していただく。保護者は、自分の子どもだけでなく、他の子どものノートも見てメッセージを記入して下さっていた。保護者からメッセージをもらったことで、さらに意欲をもって取り組む姿が見られた。



🔍 Check 自学ノートの掲示・展示の日常化

教室後方の掲示板などに、自学ノートのコピーを掲示したり、やり終えたノートを展示したりして、学級内でよいところ等を日常的に見合い、自分の取組の参考にできるように、環境整備に努めている。

また、教室のみならず、廊下には、『お友だちから「よさ」を学ぼう!!』コーナーが校長先生により設置され、子どもたちのすばらしいノートの取組を紹介し、称賛・励ましの言葉をおくっている。



🔍 Research 桑折町PTA連絡協議会での取組

シャペローゼ!のキーワード

「シャペローゼでシャペローゼ!」

生活リズム 睡眠時間 食事	家庭学習	手伝い
読書 新聞	FREE	あいさつ きまり
TV・ゲーム パソコン YOUTUBE等	親の姿勢	スマホ 携帯電話 SNS

保護者同士が子どもの家庭学習等について話をする機会を町PTA連絡協議会の場に設定し、保護者の関心を高める上で効果を上げた。

《取組の成果》

- 自主学習ノートを異学年に回覧したり、称賛のメッセージを書いてもらったりすることで、家庭学習への意欲に高まりが見られ、主体的に取り組むようになってきた。
- 学習内容の改善が見られ、授業で習ったことの振り返りやテストで間違った問題の復習など、自分の課題に即した自主学習に取り組めるようになってきた。
- 自分が興味をもったことをインターネットや辞典で調べ、絵や図などを使って自分なりに工夫してまとめられるようになってきた。

教職員が一丸となって児童の自己マネジメント力を高める取組

二本松市立東和小学校

- 学力向上推進計画を作成し、授業改善と家庭学習の奨励に全教職員で取り組んでいる。また、その取組を家庭にも丁寧に説明している。
- 児童の実態に合わせて家庭学習の手引きを作成・配布するとともに、家庭学習カードを用いて児童自ら計画を立て、振り返り、次の学習に生かすサイクルが確立している。

学力向上推進計画を基にした 家庭学習の定着を図る共通実践



「学力向上推進計画」の策定

8 学力向上推進計画

- ねらい
児童が将来にわたって自己実現を図ることができるようにするために、日々の授業を基盤とし、義務教育の9年間を見据えて、一人一人に確かな学力を育むことができるようにする。
- 内容
(1) スキットとタイムについて
授業スタンダードを活用し、授業の質的改善を図る。
(2) スキットとタイムについて
(ねらい) 学習内容の補充・発展を図るとともに家庭学習の仕方について指導する。
(日時) 火曜日、木曜日 13:15~13:35
(内容等) 補充・発展問題
(留意点) 授業との関連を図る。
(6) 家庭学習について
① 時間の目安
○ 学年×10+10分 (1年…20分、2年…30分、3年…40分、4年…50分、5年…60分、6年…70分)
② 留意点
○ 宿題の他に「自主学習」を推奨し、自分で課題を設定し、自分の課題に沿った学習に取り組ませるようにする。(「家庭学習スタンダード・家庭学習の手引き」の活用)
○ 学年に応じて、児童の意欲を高め、家庭学習の習慣化を図る手立ての工夫をする。

毎週火曜日と木曜日に、学習内容の補充・発展を図ったり、家庭学習の仕方について指導したりする「スキットとタイム」を設定している。家庭学習カードへの記入、家庭学習への取り組み方の指導、家庭での生活時間や家庭学習の取組についての振り返りなどを実施している。



児童の実態に応じた 「家庭学習の手引き」の作成

家庭学習の手引き

二本松市立東和小学校 第6学年

■家庭学習について
○ 「読む」「書く」「計算」の学力の土台になる力をつけます。
○ 自分で課題を見つけ、解決したり追究したりする自主学習に取り組みます。

■学習時間のめやす
70 分

■家庭学習のポイント
○ 生活リズムを見直しましょう。
・ 早ね、早起き、朝ごはんの習慣を身に付ける。
・ メディア活用の時間を自己管理する。
○ 計画的に取り組ましましょう。
・ 学習を始める時刻と時間を決める。
・ 学習する内容を決める。
・ 学習する方法を決める。
○ 目標に向かってがんばりましょう。
・ 集中できる、明るい場所で学習する。
・ 正しい姿勢で取り組む。
・ 学習内容を確認してもらおう。

■学習を始める前に
○ 学校からのプリントや連絡帳を家の人に見せましょう。
○ テレビや音楽などは消しましょう。
○ テーブルや机の上や周りを整頓しましょう。
○ 学習に必要な用具を準備しましょう。
○ 学習のめあてを決めましょう。
○ 学習を始める時刻と時間を決めましょう。
○ 学習内容と方法を決めましょう。
○ 正しい姿勢で勉強しましょう。

児童の発達段階に応じて、家庭学習への取り組み方、学習内容等を記載した「家庭学習の手引き」を配布している。

授業参観後の学年懇談会で、各学年で求める家庭学習について丁寧に説明したり、学校便り等で取組の様子を伝えたりすることで、各家庭へ周知を図り、協力を得ている。



「家庭学習の計画」

家庭学習カード

月日	4月22日	4月23日	4月24日
曜日	月	火	水
命題	いじめの予防	いじめの予防	読書発表会
宿題	4x2ノードP50のプリント	4x2ノードP50のプリント	4x2ノードP50のプリント
自学	自分のめあてを立てる。	自分でめあてを立てる。	自分でめあてを立てる。
振り返り	35分以内の宿題をやる。	35分以内の宿題をやる。	35分以内の宿題をやる。
達成時間	3:48	4:00	2:10
学習時間	51	51	51
コメント	自分でめあてを立てるのに苦労して見えた。	今日は理科の宿題をしっかりとこなせた。	今日は、2人で宿題を一緒にこなせた。
振り返り	自学、自分で勝手に宿題をやる。めあてを立てる。	めあてを立てるのに苦労して見えた。	自分でめあてを立てるのに苦労して見えた。

5	音読	たんしほほ	○	家	学校
10	しゅくだい	プリント2まい	○	家	学校
(金)	自しゅ学しゅう	プリント	○	家	学校
	時間	40 分間	家	読書	
(土)	音読	たんしほほ	○	家	学校
(日)	しゅくだい	ドリル	○	家	学校
(日)	自しゅ学しゅう	プリント	○	家	学校
	時間	30 分間	家	読書	
振り返り	今週読んだ本	花まる まる	3回	読書	
振り返り	自しゅ学しゅう	6回	学しゅう時間	(合計)	240分間

家庭学習カードにコメントを記入し、児童の取組を称賛している。また、学期ごとに児童の頑張りを学校便りでも紹介している。

5年 自主学習表 組番名前()

日	曜日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24日	合計	達成率	
4月	予定	読書	90	90	100%																							
5月	実績	読書	80	60	75%																							

学び直しの徹底と児童の学びに向かう力を高める指導

須賀川市立長沼小学校

- 宿題や授業等で取り組んだプリントで間違えた問題をそのままにせず、チャレンジタイムの時間に直し直したり、理解が不足している部分は、覚え直したりする機会を設定している。
- 自主学習の取組を可視化し、努力の足跡が分かる掲示や「自主学習の取り組み方」について学級活動で話し合うなど、児童が粘り強く学びに向かう力を高める指導が発達段階に応じて展開されている。

🔑 確実に「分かる」ようにさせる取組



「学び直し」の徹底



家庭学習の内容を教師が「チェック」し、付箋を貼って児童に返却する。児童は、間違いに気付き、見直すことで、家庭学習内容を振り返る。また、間違いやつまずきを「学び直し」時間を設定し「そのままにしない、させない」工夫をしている。

📅 Plan 自らの学習を調整する力の向上

家庭学習の計画 実施するものに○をつけよう。 4月

日(曜)	宿題	自主学習	時間	担任	備考
1日(月)	国・数・英・理・社・()	国・数・英・理・社・()			
2日(火)	国・数・英・理・社・()	国・数・英・理・社・()			
3日(水)	国・数・英・理・社・()	国・数・英・理・社・()			
4日(木)	国・数・英・理・社・()	国・数・英・理・社・()			
5日(金)	国・数・英・理・社・()	国・数・英・理・社・()			

「家庭学習の手引き」と一体型の計画表。帰りの短学活時に学習の計画を立てる。担任は児童の計画をチェックし、家庭学習の内容について助言をする。帰宅後はやるべきことが明確になっているので児童が迷わず家庭学習に取り組むことができる。

また、学校と家庭で共通理解を図り、児童の家庭学習の状況を担任と保護者の複数の目で確認している。

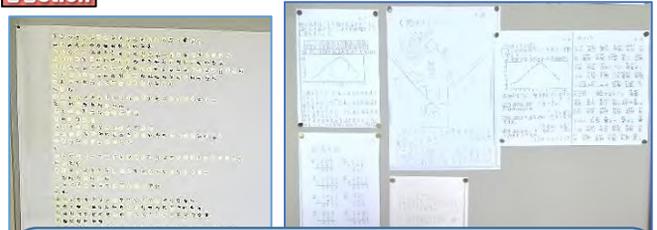
🔍 Research Plan 友達の取組と比較して自分の課題を知る (第3学年)

「自主学習の取り組み方」をテーマに、学級活動で話し合っている。どのような学習をしているのか意見を交換し、自主学習ではどのような学習に取り組めばよいかを確認している。

「間違えた問題を、自主学習で再度やってみよう」など、マンネリ化を防ぐとともに、自分の課題を客観的にとらえるよい機会となっている。粘り強く学びに向かう力を高めている。



教室掲示による学びの記録の可視化



(写真左) やり終えた自主学習の冊数をシールの枚数で掲示し、家庭学習の取組を可視化している。
(写真右) 家庭学習の質を高めるために、参考にしてほしい特徴的な自主学習の取組を掲示している。

🔑 学ぶ意欲を高める指導



個に応じたコメントの記入

児童への励ましの言葉を自主学習ノートにコメントしている。家庭学習の取り組み方や、内容等に関する具体的なアドバイスや称賛を個に応じてコメントし、継続して取り組む意欲を高めている。

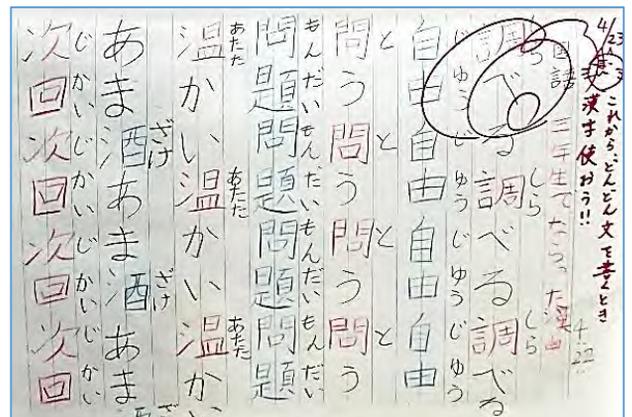
① 計算スキル⑧

10週分もこの知識を身に付けて活用しよう！
図書館の利用のようす

	先週	今週	合計
利用した	5	6	11
利用しない	6	4	10
合計	11	10	21

① 先週も今週も図書館を利用した人は何人ですか。
A. 5人

② 上の表の②に入る数を書きましょう。
④ ⑥は、どのような人を表していますか。アで答えましょう。
① 先週は図書館を利用して、今週は利用しなかった人。イ先週は図書館を利用しないで、今週は利用した人。ウ先週も今週も、図書館を利用した人。
A. 7



「自ら学ぶ力」を育てる「家学タイム」の取組

西郷村立小田倉小学校

- 毎日10分間の「家学タイム」を日課表に位置付け、家庭学習の計画を立てる時間を全学年で設定している。
- 今年度は、全校で系統的に取り組むことで自ら学ぶ力を育成したいという思いから、家庭学習において「身に付けたい力」や「家学タイムの系統」「全校統一CD」を作成・使用している。

「自分の学習状況を振り返る力、計画を立てる力、実行する力」の育成



「家学タイム」の取組



小田倉小学校では、5校時終了後に10分間の「家学タイム」を設定している。
「家学タイム」とは、その日の授業を振り返り、家庭学習では何をすればよいかを考える時間のこと。

最終的には、自分で一日の学習内容から補充が必要な内容やもっと調べてみたい内容に取り組んだり、次の日の授業の予習をしたりする等、自分で計画・実行できることを目指して指導している。

また、教師の指示をできるだけ少なくしたいという思いから、全校統一の音楽CDを使用。音楽がかかると同時に活動を開始し、曲の切り替えを合図に、子どもたちは次の活動へと自主的に移っていく。

《「家学タイム」の系統》

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
始める前	CDを準備 必要なもの(連絡帳、家学ファイル、漢字ノートなど)を出す					
家学タイム	1学期 音楽がなかったら、席につく、帰りの用意をする。 例) 読み聞かせ 振り返り 2・3学期 連絡帳にかく、1日を振り返る文を書けるようになる。	1・2学期 連絡帳へ必要なメモが書けるようにする。 3学期 家学ファイルへの移行を考えた2週間程度カードを書く練習をする。 5 帰りの用意	家学ファイルの書き方を知ら、一週の流れが分かる。音楽の切り替えて準備や学習を進めることができるようにする。 1 今日の漢字学習 2 連絡記入 3 振返記入 4 担任印・自分を役立てる・整理整備 6 校時準備	1 漢字の練習 2 漢字の練習 3 プリント 4 漢字の練習 5 漢字の練習	1 漢字の練習 2 漢字の練習 3 プリント 4 漢字の練習 5 漢字の練習	1 漢字の練習 2 漢字の練習 3 プリント 4 漢字の練習 5 漢字の練習
終わったら	CDや、家学タイム掲示を片付ける 帰りの会・さようなら					
宿題 & 自学	①音読 ②漢字 ③プリント (国・算) ④作文・日記 ⑤自主学習	①音読 ②漢字 ③プリント (国・算) ④作文・日記 ⑤自主学習	①音読 ②漢字 ③プリント (国算理社) ④作文・日記 ⑤自主学習	①音読 ②漢字 ③プリント (国算理社) ④自主学習 (1ページ)	①音読 ②漢字 ③プリント (国算理社) ④自主学習 (1～2ページ)	①音読 ②漢字 ③プリント (国算理社) ④自主学習 (2ページ)

「家学タイム」の実際【4年生の例】

- 今日の漢字
→ 宿題の漢字、新出漢字の練習をする。
- 明日の連絡事項
→ 連絡帳に翌日の持ち物等を記入する。
- 学習の振り返り
→ 書き出し語の指定をしたり、振り返ってほしい内容の焦点化を図ったりする。
- 自主学習の選択・決定
→ 自分で決められるようになるまでは選択制も。
- 自主学習に取り組む
→ 自分のペースで自主学習に取り組む。
(帰宅後「何をやるのかな」と悩む時間の削減)
※開始10分で終了

《取組のよさ》

- 系統に基づき、学年によって宿題の量や質の共通理解が図られるようになった。
- 自主学習の質の向上につながった。
(教科だけではなく、単元や「この問題」といった具体的な内容を決められる児童が増えてきた。)
- 習慣化に向けて、リズムとテンポで学級全体が動いているので、自主学習の内容を決められないでいる児童への個別対応にあたる時間が生まれるようになった。
- 担任による創意・工夫がしやすい。

《今後の目標・展望》

- ・ 系統に基づく共通理解・共通実践
→ 次なる段階へ(共通基盤の上に各担任による創意工夫)
- ・ 研究実践公開での外部への取組の発信
- ・ 取組のよさ・子どもたちの姿を各家庭に発信
→ さらなる協力体制づくり、子どもの自ら学ぶ力の育成

家学タイム

通常日課 14:25～14:35
短縮日課 13:50～14:00

【順序】

- 一日の学習のふりかえり
- 自主学習の内容決め
予習・苦手内容・興味
- 自主学習に取り組む

【約束】

- 席を立たない
- 静かに取り組む

〈自主学習ノートの使い方〉

日付 内容 かった時間
いいね!!

- できなかった内容をできるようにしよう
- もっと調べてみたいことをもっと調べよう・解こう
- 明日の予習をしよう



(家学タイム高学年用指示)

小田倉小学校 家学タイム CD

- ホールニューワールド(今日の漢字指導)
- くまのプーさん(連絡記入・学習確認)
- ミッキーマウスクラブマーチ(振り返り記入)
- となりのトトロ
(担任印、自分を役立てる、6準備)
- トランペット吹きの休日(帰りの用意)
- 6～11 図工 music

10分間のオリジナルCDを作成・準備。このCDのおかげで、教師の指示がなくても児童たちは自主的に活動できるようになっている。

授業と家庭学習の連動を図った学びのサイクルの構築

喜多方市立松山小学校

- 家庭学習を通じて授業内容の一層の定着を図る取組や、発展的な宿題を通じて授業内容の一層の強化を図る取組等、家庭学習を効果的に活用した授業により、学びのサイクルを構築し、習慣化を図っている。
- 「学習カード」で毎日の家庭学習の計画・実践・振り返りをさせ、また、保護者とともに家庭学習を振り返る「家庭学習チェックシート」に取り組むことで、自己の取組を客観的に認知する力を高めている。

学びのサイクルの構築を目指して



授業と家庭学習の連動

目的をもって家庭学習に取り組むことができるように、授業内容を定着させるための学習、教材をより深く理解するための学習、学習した内容を活用させた学習に取り組ませている。

授業では、これらの家庭学習を生かして、導入場面での復習の工夫、家庭学習を生かした展開場面の工夫、次時へ向けた家庭学習内容の提案などを行っている。

授業と家庭学習が連動することで、児童の学習意欲が高まっている。

< 単元計画への位置付け >

次	時	学習活動	教師の支援	主な評価基準	家庭学習との接続 ※授業に活かす内容【音読】
一次	1	・相手を知りたいことに合わせて案内するという学習の見直しを立てる。	・自分がお客さんの立場だったら、どんな案内が分かりやすいのかを考え、臨機応変な案内ができるようになるという単元のゴールを知らせる。	・図や資料から手がかりが必要な資料を選んで案内することに意欲的に取り組もうとしている。(発言・ワークシート)	◎案内をする学習の意気込みや不安なこと等を考えてくる。 ↓
二次	2	・問いの合わせをもとに、お客さんが知りたいことを考える。	・ショーの時間と時計の時刻を関連づけて考えさせるために、時計の模型を準備し、針を動かして捉えさせる。	・問い合わせの言葉から、お客さんが知りたいことを理解している。(発言・ワークシート)	※次時以降の課題設定 場所や時間を示す言葉を考えてくる。 ↓

単元計画に家庭学習を位置付け、授業へ生かす内容を明記している。児童の負担を考え、継続して取り組めるよう配慮している。

< 授業研究の視点 >

視点1 「問い」や「思い・願い」を引き出す工夫

- ・知的好奇心を高める課題提示の工夫
- ・教師の実演から、子どもの気付きや発言を引き出し、学習課題を設定することで、課題解決の意欲を高める。

視点2 対話的な学びの工夫

- ・家庭学習を生かした授業展開
- 事前家庭学習で考えてきた案内文を使って話し合いを進めることで、自分の意見をきちんと整理して話すことができるようにする。
- 目的を明確にした「対話の場」の設定
- グループの中で自分の意見を伝え、自分が考えてきた案内よりもよりよい案内になるよう、互いのよい点や改善点について話し合う。

視点3 学びを深める振り返りの工夫

- ・思考の流れを振り返る場の設定
- 本時の授業の中で出た意見をもとに、本時の授業を振り返ることで、友達の見解のよいところや自分が案内する際に気をつけようと思ったことをまとめ、次時への意欲を高める。

授業研究では、視点を3つ設定し、授業と家庭学習との連動を図っている。

視点1 「問い」や「思い・願い」を引き出す工夫
視点2 対話的な学びの工夫
視点3 学びを深める振り返りの工夫

家庭学習の取組が授業改善の視点となっている。

「自己マネジメント力」を育む働きかけ



学習カードをもとに学習の仕方を指導

学習計画表		6年 番名前									
日付	家 族	宿題・持ち物など	自主学習	勉強計画 (勉強時間をペンでめりましょう)					反 省	印(サイン)	
(月)	【 日 】 分	メモ		予定	実施	残り	達成	振り返り	達成	達成	
／									A・B・C		
／	(火)								A・B・C		
／	(水)								A・B・C		
／	(木)								A・B・C		
／	(金)								A・B・C		

学習カードには、家庭学習の計画・実践・振り返りを記入させていく。毎日の家庭学習の取組が可視化され、自己の取組を客観的に振り返ることができる。また、教師は、学習カードを点検し、学習内容や方法、時間、ノートの使い方など具体的に指導している。



家庭学習チェックシートで自己診断

家庭学習チェックシート

年 番 名 前

※ 授業のあとにしっかりと、自分の勉強習慣のよさを振り返ってみよう！
※ 毎日、この中から3つ程度を覚えて取り組もう！
※ できたら1つずつ、覚えていくのをめざそう！
※ できたら1つずつ、覚えていくのをめざそう！
※ できたら1つずつ、覚えていくのをめざそう！

項目	◎	○	△	×
1. 家の人が言わなくても、自分からすすんで家庭学習をしている。				
2. 予定を倒して、ゲーム、スマホなどをやめて学習に取り組んでいる。				
3. 宿題を全部やりとめて、きちんと整理している。				
4. 毎日、自分の進捗を、ずいぶん頑張ったのと同じように。				
5. 毎日、宿題の時間、朝ごはんを食べてから勉強している。				
6. 一日にやらなければならないゲームやスマホをする時間を決めて取り組んでいる。				
7. 決まった時間に学習を始めている。				
8. 5分(決められた時間)以上 学習している。				
9. 学習カードを活用して、予定の時間通りに学習している。				

※ 反省してみよう。

① ◎3点、○2点、△1点とし、レーダーチャートに点数を入れてみよう。
② 次の目標を書きためよう。

2ヶ月に1回保護者ととも家庭学習を振り返る機会を設定している。自己評価と他者評価の差を意識することで、「自己マネジメント力」を育成する。振り返る項目は6つある。◎○△で記入し、点数化したものをレーダーチャートに表し、可視化している。集計・分析し、指導に生かしている。

家庭学習についての研修の充実を図り児童の自主性を高める指導

いわき市立高野小学校

- 「家庭学習スタンダード」自校化推進全体計画を策定し、学校としての方針を明確にするとともに、教員研修や保護者への説明会をとおして、学校と保護者が一体となって家庭学習の推進に努めている。
- 家庭学習の計画の場の確保や積極的なまる付け、児童の取組を称賛し励ますことなど、児童の家庭学習への意欲を高める指導体制が構築されている。

家庭学習についての研修の充実

Plan

「家庭学習スタンダード」自校化推進全体計画の策定

学校としての家庭学習の推進方針を明確にし、家庭と連携しながら、子ども自身が自ら学ぶ意欲を取り戻すことと目指していただくための基礎的汎用的能力を養うための個人差に応じた指導の場を確保していただくこと。

学校としての家庭学習の推進方針の明確化
 ① 家庭学習の推進方針を明確にする
 ② 家庭学習の推進方針を保護者に伝える
 ③ 家庭学習の推進方針を児童に伝える

確立した家庭教育のための保護者研修
 ① 保護者研修の開催
 ② 保護者研修の開催
 ③ 保護者研修の開催

家庭学習の計画化と自己反省の取組
 ① 家庭学習の計画化
 ② 自己反省の取組

学校資源の積極的な利用と連携推進
 ① 学校資源の積極的な利用
 ② 連携推進

望ましい生活習慣の改善を目指した生活の核
 ① 望ましい生活習慣の改善
 ② 生活の核

授業と家庭学習をつなぐ自主学習のための教員研修
 ① 自主学習のための教員研修
 ② 自主学習のための教員研修

Do

家庭学習の計画の場の確保

しゅくだいカード
 なまえ ()
 ☆ていねいに しっかり がんばろう☆

日	しゅくだい	しゅくだい	しゅくだい
6・10 (月)	国語(スティー「あかい」かん字(曜日「あかい」同じ「あかい」)じゆ(んごん)すていい「こつこつはかせ(あかあか)」プリント		
6・11 (火)	国語(スティー「あかい」かん字(あかい)数「しりあし」知「しりあし」すていい「こつこつはかせ(あかあか)」プリント		
6・12 (水)	国語(スティー「あかい」かん字(あかい)算「あかあか」じゆ(んごん)すていい「こつこつはかせ(あかあか)」プリント ノーゲームどしどし「あかい」		
6・13 (木)	国語(スティー「あかい」かん字(あかい)算「あかあか」じゆ(んごん)すていい「こつこつはかせ(あかあか)」プリント		
6・14 (金)	国語(スティー「あかい」かん字(あかい)算「あかあか」じゆ(んごん)すていい「こつこつはかせ(あかあか)」プリント		

自主学習カレンダー 6月

日	月	水	木	金	土	日
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

毎週水曜日「ノーゲーム・読書デー」 ※5月からスタート☆

併設する中学校と連携し、キャリア教育との関連を図りながら、目指す児童の姿を明確にした全体計画を作成している。

この全体計画を基に、保護者への説明会、教員研修を行い、児童の「自己マネジメント力」の育成に努めている。

各学年の実態に応じ、「自主学習メニュー表」、「自主学習カレンダー」「しゅくだいカード」、「家庭学習の記録」を活用し、中学校での「ひとりだち」を見据え、家庭学習の計画、実践、反省に継続して取り組んでいる。

児童の自主性を高める組織的な指導

D。校内研修の充実

現職教育 実技研修会
 令和元年6月14日(金)

家庭学習まる付けOJT

運動会が終わった、授業や家庭学習も落ち着いてできる季節になりました。この機会に自主学習ノートや算数ノートのまる付けについて研修を行い、先生方のスキルアップをめざしたいと思います。

以前、秋田の小学校の先生と意見交換をした時、秋田のたくさんの小学校では、校内組織を生かして、まる付けの研修を行っているとのことがありました。その時、指導助言をした方は、そういう取組が秋田の全学年学習状況調査の高さの原因になっているのではないかと話をしていました。

まる付けは、教師個人のスキルでかなり左右されます。また、その先生の忙しさに左右されます。子どもたちに出している意欲の量にも左右されます。しかし、それぞれの先生方のまる付けの仕方や考え方の違いを交換しただけでも参考になると思っています。

校内組織の中に研修主任とは別に「学びのスタンダード推進教師」を置き、家庭学習スタンダードの自校化を進めるとともに、自主学習ノートの展示や参考資料の掲示等をとおして児童への意欲付けを図っている。また、現職教育を活用し、「家庭学習のまる付け」についての実技研修会を行い、児童への称賛・励まし方を学び、実践している。

学校の取組として
 ① 共通理解を定めて掲げます。
 (学年に応じた「家庭学習の学習力」宿題の内容や量(課題))
 ② 授業と家庭学習をつなげます。
 (学習・課題を授業内に生かした授業)
 ③ 内容・方法を厳選します。
 (学習内容・方法、時間、ノートの使い方)
 (読書・算数、書く)を中心とした生活型の取組)
 ④ 協力・連携体制を整えます。
 (小中学校間での連携)
 (家庭学習についての子どもと保護者からの相談の機会)

現職の期待もあふりして、少しずつ進めさせていただきます。先生方から様々なアイデアをいただき、よりよいスタンダードを作り上げていきたいと思います。
 まずは、この学習内容から作成します。詳しくは別紙をご覧ください。

50
 319
 2118
 61127
 819
 319
 82
 619
 112118
 119
 112118

112118
 112118
 112118